

第70回神奈川県教職員スポーツ大会 【陸上競技の部】開催



横浜市西区藤棚町
2-197

神奈川県教職員組合
発行人 芹沢 秀行
編集責任 白井 千浪



<http://www.ktu.or.jp>

No.724

2017. 12. 15

第70回
神奈川県教職員
スポーツ大会開催

日教組障教ネット通信

活躍するかな政連

ちょっと拝見地区教組

第七〇回神奈川県教職員スポーツ大会（陸上競技の部）が一月一日、大和スポーツセンター陸上競技場（なでしこスタジアム）において開催され、選手・運営役員の教職員とその家族など約四〇〇人が参加しました。

大会当日は早朝に通り雨が降りましたが、その後は一日を通じて絶好のスポーツ日和となり、すべての競技を行うことができました。集まった選手のみならずは日頃の成果を遺憾なく発揮し、熱戦が繰り広げられました。

多くの家族連れの方もあり、集まった子どもたちや家族からは応援の声や歓声が響いていました。新しくなったキッズ種目や親子参加種目にも積極的に参加され、スポーツの秋を楽しんでいる姿が、たいへん印象的な一日でした。

大会では、六つの新記録が樹立されました。（男子一種四〇〇m・谷修一選手（川崎）四九秒九四、男子一種一五〇〇m・鈴木涼太選手（川崎）四分三秒六八、男子一種走高跳・枝裕二選手（川崎）二m一一、男子四種一五〇〇m・加瀬良一選手（湘南）五分五秒三一、女子二種一五〇〇m・中野美千香選手（横浜）五分三〇秒七、男女ムカデリレー・中地区五七秒六）

男子総合では、大差で湘南が優勝となり、女子総合では、川崎の優勝となりました。男女総合優勝は湘南が手中に収め、陸上競技の部では前回大会からの二連覇となりました。

神奈川県教職員スポーツ大会は、今回で第七〇回という節目を迎えたことから、地元の子供たちやアスリート、ダンスチームを招いての演技披露も行われました。近年増えている家族連れ参加を意識して今年度はじめて行われたとくみには次のようなものがありました。まずは、「中体連陸上専門部によるワンポイントアドバイス＆レッスン」、選手として指導者としての実績のある中体連専門部の役員らが陸上として早く走れるコツなどを直伝される機会となりました。その後、実施された新種目「キッズトライアル五〇」では、自分が走った五〇メートルの記録証を手にと多くの子どもたちが大喜びし、目を輝かせていました。

前回から加わったフリー参加の「親子風船運び」では、種目特性でもある和やかな雰囲気に参加家族とともに会場全体をつみ込んでいました。

団体競技では大縄跳び・ムカデリレーとも、例年にも負けない、チームワークを競いあう白熱したレース展開となりました。

参加された多くの選手や家族、応援参加の職場の仲間たち、神奈川県公立小中学校管理職組合、神奈川県公立小学校校長会、公立学校共済組合、そして大会運営を行った中体連陸上専門部、各地区の運営委員・競技役員の方々のおかげで、熱く燃え、盛り上がった大会を終えることができました。また、開催地区の湘北をはじめ、地区実行委員として事務局をつとめた地区教組の準備段階からの尽力に感謝いたします。

今後も、県教職員スポーツ大会のさらなる活性化や厚生活動の意義・あり方については、実行委員会・運営委員会等を通して協議を深め、内容が充実し参加しやすく楽しめる大会となるよう引き続き検討を重ねていきます。

次年度（二〇一八年度）は、球技の部が開催される予定です。



第70回神奈川県教職員スポーツ大会 入賞者記録および総合順位(2017年度)

種目	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位	大会新記録
男女総合順位	湘 南 631点	横 浜 584点	川 崎 537点	湘 北 187点	中 186点	西 湘 168点	三 浦 109点		
男子総合順位	湘 南 410点	横 浜 371点	川 崎 284点	湘 北 143点	西 湘 125点	中 109点	三 浦 75点		
女子総合順位	川 崎 202点	横 浜 165点	湘 南 164点	中 37点	西 湘 23点	三 浦 14点	湘 北 11点		
男子一 種	100m	太田 孝之(浜) 0'11"75	古屋雄治郎(南) 0'12"10	藤井 佑亮(三) 0'12"23	大口 将史(浜) 0'12"30	山本慎太郎(川) 0'12"48	福江 直拓(南) 0'12"50	院田 健司(川) 0'12"54	合田 貴耶(南) 0'12"55
	400m	谷 修一(川) 0'49"94	野上 政彦(中) 0'53"79	太田 孝之(浜) 0'53"90	望月 拓巳(浜) 0'55"00	池田龍之介(川) 0'56"78	藤井 佑亮(三) 0'56"82	福江 直拓(南) 0'57"94	高橋 朋也(北) 0'58"93
	1500m	鈴木 涼太(川) 4'03"68	吉野 健夫(南) 4'31"29	志村 裕太(西) 4'31"99	丸山 俊紀(北) 4'32"51	野上 政彦(中) 4'33"39	小池 達也(川) 4'36"86	河野 太助(中) 4'48"46	小西 範明(三) 4'54"12
	走幅跳	久保田祐司(南) 6m06	神戸 正博(南) 5m53	合田 貴那(南) 5m53	飯澤 光(浜) 5m35	加藤 裕也(浜) 5m21	田中 大貴(三) 4m98	星野 永朔(西) 4m76	高橋 朋也(北) 4m75
	走高跳	枝 裕二(川) 2m11	新堀 泰(川) 1m95	古屋雄治郎(南) 1m65	太田 孝之(浜) 1m65	小川 大地(西) 1m60	古屋 徹郎(南) 1m55		枝 裕二(川) 2m11
男子二 種	三段跳	鳥越 陽介(北) 14m26	枝 裕二(川) 13m39	新堀 泰(川) 12m10	鈴木 孝明(川) 10m61	三浦 史聖(川) 10m16	吉田 峻平(南) 10m12	大野 洋平(川) 9m95	古田 実(浜) 9m30
	砲丸投	新堀 玄(浜) 13m66	吉田 貴(浜) 10m76	窪田 和久(川) 10m49	星野 永朔(西) 10m28	明石 悠吾(北) 9m55	徳永 涼騎(川) 9m30	山崎 智(南) 9m20	篠田 晃(川) 8m70
	100m	前田 悠(南) 0'12"15	吉岡 遼平(南) 0'12"53	吉田 啓(川) 0'12"63	樋口 憲一(西) 0'12"67	方尺 宏之(浜) 0'12"79	高野 俊明(南) 0'12"84	和田 裕司(北) 0'12"92	石井 俊一(川) 0'13"00
	400m	寺内 浩司(西) 1'03"38	井上 慶志(浜) 1'04"07	橋本 勇気(川) 1'07"74	鈴木 慎平(北) 1'08"20	新 龍佑(浜) 1'13"12	渡部 和正(川) 1'14"42	篠原 毅(浜) 1'17"70	
	1500m	片山 圭(中) 4'29"35	滋賀 智樹(西) 4'37"45	依田 康孝(浜) 4'39"76	水落 勝彦(三) 4'51"99	井上 慶志(浜) 4'55"03	葛西 威志(南) 5'10"96	齊藤 亮介(西) 5'12"34	櫻井健一郎(中) 5'13"26
男子三 種	走幅跳	吉岡 遼平(南) 5m67	長崎 達範(南) 5m37	大谷 崇夫(浜) 5m26	山下 淳(浜) 5m14	佐藤 允彦(南) 5m01	伊東 良祐(南) 4m76	橋本 勇気(川) 4m72	鈴木 慎平(北) 4m36
	走高跳	鳥越 陽介(北) 1m75	甲斐 政人(浜) 1m70						
	砲丸投	津村 公栄(南) 10m59	中山 康平(浜) 9m75	小澤 寛治(中) 9m63	伊東 良祐(南) 8m12	森 徹司(浜) 8m04	廣瀬 達也(南) 8m03		
	100m	浅野 益男(北) 0'12"21	長谷川明洋(南) 0'12"48	寺内 浩司(西) 0'13"29					
	1500m	藤本 伸一(南) 5'15"76	坂利 誠司(浜) 5'22"16	津藤 信吾(川) 5'26"92	桂山 賢二(中) 5'42"64	高橋 隆之(西) 5'57"73			
男子四 種	走幅跳	石田松五郎(川) 5m54	岩岡 秀之(浜) 5m20	先崎 究(浜) 5m19	井上 泰希(南) 3m85				
	砲丸投	小原 大祐(中) 13m68	浅野 益男(北) 11m55	外山 研一(川) 11m52	田島 聡(浜) 10m23	佐藤 大輔(南) 7m56	渡邊 幹夫(南) 4m82		
	60m	岩岡 秀之(浜) 0'08"52	油井 雅彦(浜) 0'08"80	小林 篤(浜) 0'09"26	加瀬 良一(南) 0'09"74	松下 希一(浜) 0'09"92			
	1500m	加瀬 良一(南) 5'05"31	高田 義仁(西) 5'10"79	前尾 和彦(北) 5'37"67	山口 勝之(浜) 5'50"44	小林 秀夫(南) 6'09"87	三宅 昭(西) 6'19"08	古川 貴也(南) 6'43"76	加瀬 良一(南) 5'05"31
	砲丸投	山口 勝(中) 11m31	大高 幸二(中) 11m31	村主 和久(川) 11m12	小林 秀夫(南) 7m96				
女子一 種	60m	牧田 采子(南) 0'09"88	飯田 実歩(川) 0'09"91	村岡愛李菜(川) 0'09"93	遠藤 都子(川) 0'10"12	油谷 怜(南) 0'10"35	伊藤 綺香(浜) 0'10"36	古本早智子(西) 0'10"39	飯田 沙織(西) 0'10"44
	100m	足立 花子(川) 0'14"03	松山 晴香(浜) 0'14"17	佐藤由紀子(浜) 0'14"24	黒岩 唯(川) 0'14"31	松村 萌美(川) 0'14"53	西川亜希乃(浜) 0'14"90	小松 由貴(川) 0'16"02	関川 清詩(南) 0'16"15
	1500m	小林 千紘(北) 5'55"53	宮口 望美(浜) 6'00"07	清水なつみ(川) 6'24"19	小川友梨恵(南) 7'56"76				
	走幅跳	黒岩 唯(川) 5m02	松山 晴香(浜) 4m91	足立 花子(川) 4m48	西川亜希乃(浜) 4m47	小山奈緒子(南) 4m43	玉野 友紀(川) 4m33	館 あかね(南) 4m16	関川 清詩(南) 4m04
	砲丸投	清水 美里(浜) 9m95	玉村 優奈(川) 9m63	黒川明日香(川) 8m46	石川 眞衣(川) 7m68	小山奈緒子(南) 6m63	牧田 采子(南) 6m42	佐藤 祥子(南) 6m25	古本早智子(西) 5m79
女子二 種	60m	八本理恵子(川) 0'08"67	横山 容子(川) 0'09"04	古山 文恵(三) 0'09"13	木下 恵子(浜) 0'09"36	中野美千香(浜) 0'09"81	伊東 良子(南) 0'09"95	宇野 晴子(南) 0'10"77	木村 貴子(浜) 0'10"90
	1500m	中野美千香(浜) 5'30"71	大谷 歩美(川) 6'08"15	高橋 里奈(南) 7'07"93					中野美千香(浜) 5'30"71
	走幅跳	八本理恵子(川) 4m25	藤枝 春美(川) 4m08	木村 貴子(浜) 2m98					
	砲丸投	熊澤 美紀(中) 9m60	伊東 良子(南) 8m88	岸 あゆみ(中) 8m40	植田 留理(南) 7m25	宇野 晴子(南) 6m58	茂 祥子(南) 5m82		
	男子400mR	川崎A 0'46"42	横浜B 0'49"11	湘南A 0'49"39	横浜A 0'49"97	川崎B 0'50"29	横浜C 0'50"45	湘南B 0'50"67	三 浦 0'51"43
女子400mR	横浜A 1'00"60	川崎A 1'02"34	川崎B 1'03"38	湘 南 1'04"74	横浜B 1'05"09	三 浦 1'07"95			
混合800mR	川崎A 1'46"10	湘 北 1'51"33	横 浜 1'56"95	湘南A 2'00"25	湘南B 2'04"32	川崎B 2'07"12	中 2'07"91		
大縄跳び	横 浜 97回	湘 南 81回	三 浦 73回	湘 北 72回	川 崎 51回	中 46回	西 湘 26回		
ムカデR	中 0'57"60	川 崎 1'20"80	湘 南 1'30"30	西 湘 1'42"60	横 浜 2'22"50	湘 北 3'00"00			中 0'57"60

主催：（一財）神奈川県教育会館 （一財）神奈川県教育福祉振興会

はばたけ子どもたち 夢・未来コンサート

音楽の楽しさや、オーケストラの素晴らしさを
親子・家族で体験していただくことを目的としています。

神奈川フィルハーモニー管弦楽団による演奏

アンダーソン/春が来た、L.モーツァルト/おもちゃの交響曲第1楽章 他
みんなで歌おうコーナーでは「となりのトトロ～さんぽ～」を予定してい
ます。楽器紹介・指揮者体験コーナーも予定しています。お楽しみに！

♪ 日 時 2018年2月25日（日）
午後1時と午後3時の2回 ＊入替制

♪ 会 場 神奈川県立音楽堂（西区紅葉ヶ丘）

♪ 募集人数 各回親子1000名（子どもの年齢は問いません、乳幼児可）
＊このコンサートはどなたでもご参加いただけます。

♪ 参 加 費 無 料 （申込者多数の場合は抽選）

♪ 申込方法 2月5日までに、住所・氏名・電話番号・参加人数
（大人子ども別）・希望時間（1時・3時・どちらで
も可）を記入し下記へFAXでお申込みください。
当選者には2月10日頃「座席引換券」をご自宅へ
郵送いたします。尚、落選の連絡はいたしません。

申込み・問合せは、神奈川県教育会館へ

申込み FAX 045-251-3181
問合せ TEL 045-241-3536

神教組第9回憲法学習会

2014年からスタートした神教組憲法学習会は、今回で9回目を迎えます。今回は、講師に国会の憲法審査会（改憲に関わる国民投票の問題点について）にも参考人として出席された、愛敬浩二さん(名古屋大学教授)をお迎えして、「改憲問題と憲法9条～自衛隊条項、緊急事態条項とは何か～（仮題）」と題して、ご講演いただきます。お申し込み等については、地区教組へお問い合わせください。



愛敬 浩二さん
(名古屋大学 教授)

期日：2018年1月26日（金） 18：00～20：00（開場17：40）
場所：横浜市開港記念会館講堂（横浜市中区本町1－6）
講師：愛敬 浩二さん（名古屋大学 教授）

（プロフィール）
専門は憲法学・憲法思想史・比較憲法学。2014年には参考人として参議院憲法審査会（国民投票の問題点に関する参考人質疑）に出席。
著作に、「改憲問題」（ちくま新書、2006年）など。

日教組 障教ネット通信

☆第4回障害のある教職員ネットワーク全国集会を開催しました！

11月11日～12日、「第4回障害のある教職員ネットワーク全国集会」を戸山サンライズで開催し、約20人の方が参加しました。開会行事後の講演会では、講師に中村雅也さん（立命館大学大学院）をお招きし、「障害のある教職員に関わる政策の歴史と現状」と題した講演をいただきました。障害者雇用率には除外率制度があり、学校の教職員にはこの制度が適用されていることから、実際の雇用率より少ない人数が雇用されているなど、現状の課題をあらためて認識することができ、今後のとりくみにいかせる内容でした。



※中村さんの論文はHPに掲載中です。http://www.arsvic.com/w/nml3.htm
運営委員の三戸さんより、「秋田県の障害のある教職員ネットワーク」でのとりくみを紹介しました。県教組の役員とともに、合理的配慮のあり方について、交渉をしてきた経過などの報告がありました。また活動の情宣などを継続的に行っていくことで、登録者の拡大につなげていきたいと意気込みを語りました。

2日目、2つのグループにわかれて分散会を行いました。職場での様子や困っていること、合理的配慮のことなど情報交換をしました。これからも日教組は障教ネットの輪を広げ、活動を充実させていきます。障害のある教職員が働きやすい職場は誰にとっても働きやすい職場となり、すべての子どもたちが生活しやすい学校となります。これからもとととくりくんでいきましょう。

《障教ネットに登録しませんか？》

「障教ネット」とは、「障害のある教職員ネットワーク」の略称で、障害のある教職員の雇用拡大、当事者の意向を尊重した合理的配慮の実現にむけて活動しています。

2014年3月に結成され、2017年8月現在、26単組78人が登録しています。

（1）目 的

- ・障害のある教職員のニーズを把握し、労働条件に関する情報や課題等を共有する。
- ・障害のある教職員の雇用拡大、合理的配慮措置の推進をはかり、障害のある教職員が働きやすい職場環境を整備する。
- ・障害のある教職員を組織化し、インクルーシブな職場づくりをめざす。

（2）対 象

- ・障害者手帳を取得している教職員
 - ・障害者手帳を取得していないが、難病等機能障害があり、日常生活に相当の制限を受ける状態にある教職員
- ※日教組（＝神教組）の組合員である教職員であることを原則とする。（ただし、障教ネット登録と同時に組合に加入する場合は参加できます）

☆お申し込みや詳細については、地区教組へお問い合わせください。

活躍するかな政連

組織出身議員の活動報告

神奈川県議会議員
(横浜市南区)

きしべ 都



共生社会の実現をめざして

神教組に結集する仲間のみならず、こんにちは。横浜市南区選出のきしべ都です。日頃のご支援ありがとうございます。

今年はいよいよ文教常任委員会に所属し、委員長の大役をいただきました。また、社会問題対策特別委員会、生涯学習審議会の委員を務めています。

今年には神奈川の高校におけるインクルーシブ教育元年です。茅ヶ崎・厚木西・足柄

横浜市議会議員 (泉区)

ふもと 理恵



指定都市への権限移譲を活かす！

日ごろより、学校現場での熱心なお取り組みに心から敬意を表します。そして、日ごろからのご支援に感謝申し上げます。

今年度から教職員の給与負担等の権限が神奈川県から指定都市に移譲され、任命権は指定都市が、給与負担・教職員定数・学級編成基準などに係る権限は県が有しているというねじれ

を支援することにかわりはあります。また、平塚に開設された県内初の児童生活自立センターは、中里学園・ひばりヶ丘学園の機能を統合強化し、乳幼児障害児入所施設、児童心理施設からなり、乳幼児期、学齢期から成人期の心理・医療等の専門的ケアができるようになり、児童心理施設には分校のかたちで教育施設が併設され、開所から半年、地域の理解と協力、ボランティアの受け入れもすすみつつありますが、虐待の増加など社会状況を受け、当初予定より多い入所希望です。多様な学びの工夫、学校全体のとらえ方を見える形で示していきたい、引き続き取り組んでいきます。

横須賀市議会議員



地域とともに、「運慶仏の国宝化」にむけた取り組み
横須賀市浄土寺の五体の運慶仏

東京国立博物館で「運慶展」が、九月二六日～十一月六日まで開催され、連日二万人を超える来場者であふれかえった。

運慶作の本物と確認された仏像は、全国で三休しかなく、そのうち五休が横須賀市浄土寺の浄土寺にある。これは鎌倉時代初期、侍所の別当・和田義盛が運慶

茅ヶ崎市議会議員



生まれてくる子はみな平等

六月定例会最終日、私は議会提案「婚外子差別撤廃のため戸籍法改正を求める意見書」を提案し賛成多数で可決されました。

これは生まれてくる子にはまったく関係ないことですが、嫡出子(二法)律上、婚姻している夫婦の間に生まれた子、かそうでない子かで、言われ

長谷川 昇

につくられたものだ。運慶仏は県内には、浄土寺以外には金沢文庫の称名寺に一体があるのみだ。「運慶展」を企画した浅見さん(東京国立博物館)は「浄土寺の阿弥陀三尊が全体の本尊としての位置づけ」の仏像は、国宝であるにかならず、世界に誇るべきと話されていた。この浄土寺は私の生まれ育ったまち横須賀市大楠にある。現在、運慶仏は国の重要文化財に指定されているが、地域の観光協会と一緒に「国宝化」にむけた取り組みをすすめている。今年に入つて、大楠工芸ミュージアム・大楠観光協会が講演会や見学会を開催し、地域運営協議会も今年のとらえ方事業として動くことになった。また、見学会開催時には、運慶饅頭を



吉川 和夫

ない差別を受けている子ども(大人も含みます)人権を守るため、国にその是正を求めるもので「平等」という言葉があります。学校でも「平等」を学びますが、果たしてこの世のすべての人が「平等」なのでしょうか。生まれた瞬間から、性別、髪の色、目の色等いろいろと違います。これでは皆同じとは言えません。そこで私たちがよく使う「平等」とは何でしょうかという疑問を持つ人が多いと思います。憲法で規定されている「平等」とは、法制上のことで、社会的環境上のものではないと言われ

「平等」という言葉があります。学校でも「平等」を学びますが、果たしてこの世のすべての人が「平等」なのでしょうか。生まれた瞬間から、性別、髪の色、目の色等いろいろと違います。これでは皆同じとは言えません。そこで私たちがよく使う「平等」とは何でしょうかという疑問を持つ人が多いと思います。憲法で規定されている「平等」とは、法制上のことで、社会的環境上のものではないと言われ

あんしん むすぶ
教職員共済

<http://www.kyousyokuin.or.jp/>

あれっ？こんなとき共済って使えるのかな？



「もしかして」という時には、必ずご一報ください。

教職員共済の各種共済にご加入いただいている方で、『建物への被害』や、『ご入院』などがあつた場合は、右記のフリーダイヤルまでご連絡ください。

ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください

厚生労働省認可
教職員共済生活協同組合 神奈川事業所

〒220-0053 横浜市西区藤棚町2-197 神奈川県教育会館内
TEL 045-242-6660 FAX 045-242-3881

各種共済で業務中のケガや事故から、
プライベートまで保障します！

総合共済 自動車共済 火災共済 医療共済
団体生命共済 車両共済 (住宅災害等給付金付火災共済)
年金共済 (車両保険) 新・終身共済 (終身生命共済)
(年金共済・満期年金共済) 自然災害共済 (交通災害共済)

共済金ご請求 フリーダイヤル
0120-065411

★受付時間：平日午前9時～午後5時30分



ちょっと拝見地区教組

湘北地区教職員組合協議会

組織拡大強化にむけた 「新採用早期加入」のとりくみ

湘北教協は組織の拡大強化を最重要課題とする中、組合活動の意義や理念を若い世代に継承していくためにも新採用教職員の早期加入にむけたとりくみを強化してきました。

○沖縄平和研修ツアー

六月三日～四日の二日間にわたり、二〇一七年度新採用早期加入組合員を対象に「沖縄平和研修ツアー」を開催しました。ツアーには二五人が参加し、ひめゆりの塔資料館、健児の塔や沖縄県平和祈念資料館等を見学し、歴史認識を深め、平和について考えました。また、嘉数高台からは普天間基地に駐機するオスプレイを展望しました。同基地は住宅地の中央に位置するため、住民は慢性的な交通渋滞や騒音被害、墜落事故への不安等に悩まされながら生活していることを実感し、沖縄の基地問題についても考える機会となりました。参加者からは「二度と同じ過ちをくり返さないためにも、今回、見て感じたものを教員として子どもたちに伝えていきたい」「自分の生徒が戦争という悲劇にまきこまれることは絶対にあってはいけない」「自分は子どもたちに語り継いでいく責任があることをつくつけられた」等、教職員という立場から平和の尊さを再確認する感想が寄せられました。

「二〇一七年度教員採用試験対策講座」を開催しました。当日は七九人が参加し、昨年度に本対策講座を受講し合格した組合員の体験談の後、小グループで面接練習と討議を行いました。参加者からは、「自分にはない価値観や意見を聞くことができて良かった」「今自分がすべきことを見通すことができた。グループでの面接練習では、質問の意図や答え方について話し合うことができてとても有意義な時間となった」「本番に近い緊張感を得られた。他の方が考えていることなど、自分だけでは考えられないような意見が聞けた」等の感想が寄せられました。また、講座の最後に臨時的任用職員・常勤代替職員・非常勤職員の権利について、組合の意義を理解する機会となりました。



○教員採用試験対策講座

六月二四日、臨時的任用職員・常勤代替職員・非常勤職員を対象に

○教育課題自主講座

若手教職員の教育実践交流の場、また親睦をはかる場として各地区・ブロックで教育課題自主講座を開催しています。

一〇月六日に、大和市立鶴間中学校で大和ブロック第一回教育課題自主講座（がんばれ若造の会）を開催し、若手教職員を中心に五五人が参加しました。小川清さん（元中学校音楽科教諭）を講師に招き、「みんなで歌おう！合唱・音楽指導」のテーマのもと、合唱指導について学びました。合唱指導は、日頃の音楽の授業を担当する小学校教員はもちろん、合唱コンクールのクラス指導を担う中学校教員にとっても共通の課題であり、参加者からは「合唱



○新採用歓迎集会

若手組合員が中心の実行委員会が企画・運営を行い、若年層の教職員を対象に歓迎集会を行いました。四月二六日に大和ブロックで五三人、七月二六日に厚愛地区で七三人、八月二三日に相模原で七〇人の参加がありました。

各集會では、労金や組合活動についての説明を行い、さらに、大和ブロックでは、ブロックや担当学年ごとのグループに分かれて話をしたり、授業で使えるアイデアの情報交換をしました。厚愛地区では、グループ対抗のゲームをとおして交流を深めました。相模原では、座談会をとおして、日頃の悩みや思いについて話し合いました。若手組合員が組合活動企画運営すること、組合に対する意識を高めることも、仲間との輪を広げています。



西湘地区教職員組合

保護者、地域との 社会的対話へのとりくみ

西教組では教職員の社会的対話の重要性と、保護者・地域とのつながりを大切にするという観点から、執行部、各分会でPTAや地域の方々との対話の機会をつくり、子どもをとりまく諸課題について、共有をはかっています。

○教育懇談会の開催

西教組では、中学校区を一つの単位として、教育懇談会を開催しています。四月に担当者会議を開き、中学校区ごとに昨年度までの流れを参考にしながら、今年度の教育懇談会の計画を立てます。職場の多忙化がすすむ中、分会や中学校区の教職員による独自開催が難しいところも多く、懇談会をPTAや地域の青年会等と共催する等の工夫をすることで、保護者、地域の方々との対話の機会を確保しています。

二月一日現在、西湘地区の三分の二にあたる一四中学校区から教育懇談会の開催とその内容について報告があがってきています。また、これから冬休み前にかけて行う中学校区もあります。内容は、「身の回りのハザード（危険源）・いざというときの行動について」や「子どもと地域との関わり」など子どもをとりまく課題や「日々のストレスとの向き合い方」など教職員や保護者が一緒に考えて考えられる問題など工夫してとりくんでいます。



PTA県西ブロック研修会グループ報告

参加者からは、「テーマを決めるのは大変だが、保護者や地域の人たちと問題を共有できた」等の感想をいただきました。

○PTAとの研修会のとりくみ

西教組執行部では、毎年PTA協議会と学習会を行っています。今年度は、旧教育事務所ごとに分かれていたPTA協議会のブロックが再編され、一つになってから初めての学習会となりました。

一〇月二八日に「県西ブロック研修会」として、西教組執行部から一人、PTA協議会県西ブロックから二三人の他、学校の管理職や県西教育事務所からも数人が参加しました。

六つのグループに分かれ、①「PTAへの任意加入問題について」、②「親子関係について（自分と親との関係を振り返って）」の二つのテーマで話し合いました。どのグループでも①の内容について、多くの時間を使って話し合われました。PTAが任意加入であることが「だから入らなくてもよい」という論調で世間に広まってしまったことや、背景にある共働き世帯が増え、PTA活動が負担と捉えられてしまう現状について、話し合われました。時間が経つにつれて、話し合いも白熱し、終了時刻になっても話し合いが終わらないくらいでした。グループ報告では教職員、保護者の立場からこれからのPTAの果たしていく役割とつながりの大切さを再確認する貴重な時間となりました。

さらに、第二部の懇親会にも、多くの参加がありました。食事をしながら、教職員と保護者としてだけでなく、同じ社会人として、仕事のこと、家庭のこと等、和気あいあいとした雰囲気の中で話に花を咲かせました。